

ふくい生衛だより

発行所/福井市松本3丁目16-10 (公財)福井県生活衛生営業指導センター 発行人/理事長 光森 幸夫 印刷所/(有)田中印刷堂

新年のごあいさつ



公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター理事長
福井県生活衛生同業組合連合会会長

光 森 幸 夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素より当指導センターの業務運営につきまして格別なご支援、ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

昨年は大阪関西万博の開催や、海の向こう大リーグでの日本人選手の活躍など明るい話題の一方で、記録的な猛暑や局地的大雨、台風被害など自然の脅威に加え、熊による被害、かつてない米不足や物価の高騰など、私たちの生活にも大きな影響を与えた大変厳しい状況の一年となりました。

県内におきましては、北陸新幹線延伸開通から2年近くが経過、特に関東甲信越地区を中心とした観光客が増加したことにより、ある程度の経済効果もあったように思われます。今後も、こうした交流人口の増加が続き、県内経済の活性化に繋がるよう願っております。

さて、昨今のわれわれ生衛業を取り巻く環境は、原材料や燃料の高騰が続くなど、一層厳しさを増し経営環境を圧迫しております。こうした環境下、当指導センターにおきましては、今年も各生衛業者様の実情を踏まえ、寄り添ったきめ細かな支援を行うとともに、時代の変化や将来の経営環境を見据えた経営改善、基盤強化への取り組みや、その他各種相談会や研修等も充実させてまいりたいと考えております。

また、生衛業は国民生活を支え、日常生活には欠かせない業種であり、消費者や利用者の多様なニーズに応え、誇りを持って安全で質の高い商品やサービスを提供する使命がございます。地域社会を構成する一員として、地域との連携、協働など生衛業の有する社会的特徴や役割を発揮すべく、各組合の基盤強化と活性化にも全力をあげて取り組んでまいります。

そのためには、関係各位のご支援、ご協力を賜りながら県内生衛業が一丸となり、社会的役割や機能を発揮していくことが不可欠であると考えております。

皆様方のご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

最後になりますが、生活衛生同業組合ならびに生活衛生業界の皆様にとりまして、今年一年が輝かしい飛躍の年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



栄えあるご受章おめでとうございます

現福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合 副理事長

木水 継一郎 氏

春の叙勲で「旭日単光章」を受章されました



元福井県麺類業生活衛生同業組合 副理事長

佐々木 哲男 氏

秋の叙勲で「旭日単光章」を受章されました



生活衛生功労者の表彰

生活衛生功労者として、次の方々が栄えある厚生労働大臣表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰、福井県知事表彰、福井県生活衛生同業組合連合会長表彰を受賞されました。

日頃のご研鑽に敬意を表し、心からお祝いを申し上げますとともに今後とも益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。
(敬称略)

厚生労働大臣表彰

北川 昌信（クリーニング） 長谷川多聞（公衆浴場） 三宅 恵子（社交飲食）

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

瀧本 孝男（喫茶飲食） 小林 壽一（麺類） 森 哲也（中華料理）

福井県知事表彰

宮原 芳明（理容） 大簗理一郎（理容） 梅田 眞澄（美容）
小林 敏行（クリーニング） 開発 毅（料理） 原田 智章（飲食）
河合 緑（社交飲食）

福井県生活衛生同業組合連合会長表彰

田野 収一（理容） 前田 健二（旅館ホテル） 北谷 敏一（麺類）
本谷 佳孝（麺類） 馬野 忠和（飲食） 室谷 雄彦（社交飲食）
山本 誠（社交飲食）

組 合 だ よ り

理容生活衛生同業組合

昨年は福井県独自のマイスター認定講習会としてレディースシェービングエステ、メンズフェイシャルの技術講習会を行いました。受講者は認定証を取得、理容組合ホームページ上で『マイスター認定サロン』として登録をしました。ぜひホームページをご覧ください。

さらに、一昨年に引き続き9月15日に丹南会場(越前市文化センター)、11月16日に福井会場(エルパ)で一般消費者向けの「理容体験イベントを開催」、2会場で80名以上の方に理容の技術を体験していただき、理容業界のPRを行うことができました。

2023年から行ってきましたイベントですが、組合という組織力があったからこそ続けてこられた事業です。ご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございました。

また、今年は3年に一度の理容感謝祭を行う予定です。今年も理容の魅力をPRし、新規顧客開拓、集客アップできる取り組みに努め、組合員にとっても魅力的な組合づくりを行って参ります。



美容業生活衛生同業組合

私ども美容組合は、「生活衛生関係営業の運営と適正化及び振興に関する法律」のもと、美容業の普及、振興に努めています。

私たちは、美容業を通じてお客様に美を提供することだけでなく、安心安全にご利用いただくために環境や衛生面にも気を配っています。

具体的には、1年に1度必ず県内6地区で衛生管理講習会を実施し、保健所の指導、助言のもと、美容所内において衛生水準の維持、向上のための研修を積んでいます。そして、公衆衛生上、問題のないようにしています。

次に、時代の先端をいく業界であることから、最新の髪型、流行のものを取り入れるべく講習会を実施し勉強しております。

単に明るさや奇抜な色合いだけではなく、美容所で実践でき、売上につながり、お客様に喜んでいただけるようなものを考えております。

とくに今年は、東海北信越美容研究会を通じて、他県の組合員さんとの交流を深めながら、勉強し情報の交換をしていきます。

今後とも美容業の発展とともにお客様に安心してご利用いただくために努めてまいります。

クリーニング業生活衛生同業組合

当組合では、サステナブル社会を目指し環境に配慮した活動を今年も引継ぎ、ハンガーリサイクル（回収）を行っています。

又、小学生高学年を対象に出前授業として、本年度は福井市宝永小学校と福井市清水北小学校で行いました。洗濯表示の解説をクイズにしたものなど楽しくわかりやすい授業内容にし、また、応急のシミ抜き方法やアイロンがけのコツを話し、実際に各自のハンカチにアイロンをかけてもらう指導をいたしました。

「家に帰ったらお母さんのお手伝いでアイロンかける」「シミを取るときは上からたたくんだ。こすってはいけないんだ」など子どもたちの生き生き、ハツラツした姿がみられた授業でした。



公衆浴場業生活衛生同業組合

『銭湯川柳』投稿者に感謝

毎年10月、「銭湯アルアル」や「クスッと笑ってしまう銭湯での出来事」をテーマに、銭湯川柳を募集しています。

この企画は、平成25年(2013年)にスタートしましたが、銭湯数の著しい減少や事業のマンネリ化によって、応募総数は減少の一途をたどっていました。

そのため、令和5年(2023年)からは、インパクトのある話題性によって若者からのエントリーを促そうと、「生成AIの部」を新設し、スマホやパソコンからも応募できるようにしました。

「生成AIの部」とは、ChatGPT等の生成AIに川柳を作らせ、その作品をブラッシュアップして投稿する部門です。

令和7年度の実募総数は、45名の方から98の作品が寄せられ、全体の3割がネットからの応募でした。

残念ながら、応募総数は依然として減少傾向にありますが、どの作品も「銭湯愛」に溢れるものばかりで、投稿者様の観察力や発想力には驚かされる次第です。品から伝わる銭湯への思いは、公衆浴場の存続、発展のために心強い励みとなりました。心より感謝申し上げます。

今後とも、たくさんのご応募をお待ちしております。



興行生活衛生同業組合

令和7年の日本映画界は記録ラッシュとなりました。アニメ映画の『劇場版鬼滅の刃 無限城編 第1章 猗窩座(あかざ)再来』は、日本映画史上初となる全世界興収が1000億円を突破、国内興収でも令和7年11月24日現在で381.5億円と、歴代興収ランキング1位の『劇場版鬼滅の刃 無限列車編』(興収407.5億円)にあと26億円に迫っています。また、歌舞伎役者として芸の道に人生を捧げた男の激動の人生を描いた『国宝』は、これまで邦画実写で興収1位だった『踊る大捜査線』

THE MOVIE2 レインボーブリッジを封鎖せよ!』(興収173.5億円)を22年ぶりに更新し、令和7年11月24日現在で173.7億円の興収をあげています。

『国宝』は俳優陣の演技や撮影技術の評価も高く、作品そのものの完成度高に加え、口コミによるリピーター効果が大きく寄与し、アニメ作品が中心となっていた興行の流れに一石を投じることになりました。

映画の大ヒットにより、歌舞伎や出版界も追い風を受け活気づいています。歌舞伎では、観客数が約3割増で特に30代以下の若年層が増えたということです。また、国宝の原作小説は、単行本、文庫本などの累計発行部数は200万部を突破したといえます。来年にはアメリカでの上映も決まっており、さらに歌舞伎人気に拍車がかかるものと思われます。まだご覧になっていない方には、是非お勧めしたい映画の一つです。

本年も、映画館では1人でも多くの方に劇場に足を運んで頂き、より快適にご利用頂けるよう組合員一同で取り組んでおります。今後とも映画と劇場を末永くご愛顧頂きますようよろしくお願い致します。

旅館ホテル生活衛生同業組合

昨年春、出向宣伝活動として、さいたまマラソンフェスティバル会場である、さいたまスーパーアリーナにてガラポン抽選会を行いました。

賞品として「福井県ご宿泊補助券」1等賞・15,000円、2等賞・6,000円、1・2等賞合わせ40本近く配布しました。夏休みや蟹のシーズンにご利用がみられ、福井の魅力に触れていただいたこと大変嬉しく思いました。

「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録に向けた署名活動を8月に2回行いました。あわら湯かけまつり会場、また福井県文化課職員の方々と一緒に福井駅西口にて活動しました。福井放送『おじゃまっテレ』に芦原支部長をはじめ、あわら温泉旅館女将の会より3名の女将さんが出演し、署名の呼びかけPRを行いました。

豊かな自然と伝統文化が大切に受け継がれている福井県、また魅力ある多様な食を今年も多くの観光客に楽しんでいただけるよう、旅館ホテル一同心よりお待ちしております。



料理業生活衛生同業組合

福井県料理業生活衛生同業組合は、「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき昭和34年に設立された料理業の組合です。

県民が思う幸福度は全国一、御食国(みけつくに)と称されるほど、豊富な山海の幸と数々の伝統工芸に彩られた美食の地、今に息づくほんものをその目と舌でお楽しみいただくことができます。

こうした旬の素材、新鮮な素材、良質な食材を使った日本料理の美味しさ、伝統、文化を守りつつ、「匠の技とおもてなしの心」をもって、その時々時代にも受入れられるよう創作料理にも挑戦するなど、料理業



組合員は日々研鑽、精進しております。

お客様を笑顔にする料理を提供、食していただくことが料理人の幸せです。

今後も料理業界の発展と、お客様の幸せの為に努力して参りますので、組合員の皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

寿司商生活衛生同業組合

こんにちは。私たちは福井県寿司商生活衛生同業組合です。いわゆる『廻っていない寿司店』の集まりです。

昨年の組合の活動としましては、後継者の育成も兼ねて近隣の学校での「握り寿司実践授業」や、老人ホームへ出向いての「出張握り寿司」といった慰問活動など、地域に根付いた活動を行ってまいりました。

いずれの活動もリピート率が高く、「寿司」が、いかに皆様に愛されているかが、あらためてわかったような気がします。



福井県の寿司は、地域の豊かな食材と伝統的な技術、そして革新的なアイデアが融合した、独自の魅力を持つ郷土料理としても親しまれています。

越前ガニの濃厚な旨味から、日本海で育った旬の魚たちまで、福井の自然が生んだ豊かな恵みを、職人の技で贅沢なじっくり仕上げてお届けいたします。

余談になりますが、魚介類に含まれるDHA、EPA、タウリン、ミネラル、鉄、カルシウムなどは現代人に必要な栄養素で、しかも寿司は低カロリー＆ヘルシー食品です。寿司を食べて健康になりましょう。

令和8年も昨年同様、寿司商組合員一同、積極的に活動を行い、「寿司」という食材と、多様な「寿司文化」をより身近に感じていただけるよう尽力していく所存です。
どうぞよろしくお願いいたします。

麺類業生活衛生同業組合

『第16回 全国麺類業青年研修会・福井大会開催』

令和7年11月19日(水)、福井県民ホール(アオッサ8F)において、第16回全国麺類業青年研修会を開催しました。県内を含め全国から80名が参加しました。

研修会では、講師に「酒井とし夫」氏をお招きして、『商売繁盛心理学』と題し、飲食店経営に役立つ心理術とSNSとAI活用法をテーマに、実演を交えながらご講義をいただきました。

集客力アップに欠かせないSNSの作り方、AI活用のポイントである指示や、制約条件などを分かり易く説明していただきました。その他にも、売上が倍になったメニューの書き方や、心理学コミュニケーションスキルを隣どうしで、組になって参加者全員で行いました。

会場からは笑いがこぼれ、満足している皆様の表情を窺うことが出来、有意義な研修会を開催することが出来ました。

もと青年会であった先輩方も参加いただき、和やかな雰囲気の中、次年度開催する北海道大会での再会を誓って終了しました。

組合員、青年部会、関係者の皆様のご協力により、青年研修会福井大会を無事終了できましたことを厚く御礼申し上げます。



喫茶飲食業生活衛生同業組合

令和7年9月30日、県中小企業団体中央会の協力を得て『価格転嫁について考える座談会』を開催しました。

中小企業診断士をお迎えし経営者として価格転嫁の悩みや対策を共有し、中身の濃い座談会となりました。価格転嫁に踏み切れない理由は、「顧客離れへの懸念」・「客に対する遠慮」といった理由がほとんどで、専門家はこれに対し「インフレの中で値上げは必要。既存客を守るだけでなく新規客を増やす取組みを」と助言。「もっと自信を持って」と後押しされました。

これに関する内容は、後日福井新聞の「論説」の記事としても取り上げられました。

9月9日には、秋の研修旅行を実施しました。行先は大阪・関西万博、19名の参加でした。短い滞在時間ではありましたが、国際色豊かな雰囲気を味わうことができました。

また、普段会えない組合員同士の交流もでき、楽しい時間を過ごすこともできました。

引き続き、SNSなどを活用し、組合員を応援していきます。



飲食業生活衛生同業組合

令和7年度の振興事業の一環として、11月11日に飲食業として、「食を通じて地域に貢献すること」、また「食を通じて地域に元気を与えること」を目的に、食事提供の慰問事業を鯖江支部が行いました。福祉活動を行う障害者就労支援施設へ数年続けている活動となります。

施設の方々も楽しみにしており、今年もお願いできるのでしょうか就労支援施設なので毎日数名の欠席者がある環境のようですが、この食事提供の日は毎年全員出席のようで関心の高さを感じております。

内容としましては、場所や時間的な問題、人員の事もあり主となる食事はお弁当形式をとっておりますが、現場の敷地では、組合員協力のもと秋吉の焼鳥を焼き提供しております。

お昼休みに合わせて午前中に焼き上げ、ひとり一人にお弁当と秋吉の焼鳥を手渡しいたしました。



お帰りの際は、来年も可能であればお願いしますと丁寧にお礼を言われました。

まさに食を提供する喜びを感じる良い事業となり、組合員の方が心を癒される事業となりました。

社交飲食業生活衛生同業組合

『煌めく夜に乾杯！』

「プレミアムナイトデジタルスタンプラリー」と題しまして、令和7年10月1日～11月30日の期間、全国のキャンペーン参加店(約5,000店)のお店を2軒まわって、設定されたQRコードを読み取り、応募していただくスタンプラリーを実施しました。

1等は10,000円分のQ.U.OカードPayなど、商品総額は800万円、当選者はなんと4,000名近くでした。

大好評で、「行きつけのお店だけでなく、以前から気になっていたクラブやスナックに行けて大満足でした。」「アプリの登録に少し時間がかかりましたが、2,000円当たりました。」「県外の出張先でも参加してみます。」等、うれしいお話をいただきました。



本企画を通して、お店や組合の知名度アップ、社交飲食業を盛り上げ、地域経済の活性化などに、少しばかり貢献出来たのではと考えております。

ご参加いただきましたお客様、協力して下さった店舗の皆様に心より御礼申し上げます。

食肉生活衛生同業組合

『食育出前講座の開催』

食育事業の一環として、主に親子や子育て世代の方を対象として、食肉に関する情報を主として「食肉出前講座」を開催しました。

食肉に関するクイズを通して国産食肉の安全性や衛生管理、お肉が食卓に届くまで等を学ぶきっかけとなり、また、同時に「ご馳走様」の意味や命の大切さも伝えることを目的とした講座です。クイズ形式なので子供たちも興味津々、楽しく学ぶ時間となり、とても充実していました。

食品ロスの多さや、輸入品に頼り過ぎず、国産の食糧自給率向上にも繋がっていくことを願います。

「ご馳走様」の意味や命の大切さ、食品ロスをなくそう！といったお勉強もした後は親子でハンバーグ作り、ワークショップも開催しました。親子で楽しくお肉を混ぜ混ぜ、こねこね、美味しそうにできたハンバーグ、全員残さずきれいに完食でした！



今後は出前講座だけでなく、食育料理セミナー等も開催予定です。お勉強もできて、レシピも学べて、おいしくて贅沢なひと時を過ごせます。

皆様のご参加、お待ちしております。



中華料理生活衛生同業組合

『全国中華料理業の全国大会の歴史』

福井県中華料理組合は、平成5年に第27回全国中華料理業大会を福井フェニックスプラザ会場で盛大に開催しました。

当時は、交通の不便さにもかかわらず全国から900名が参加されました。

そして、一昨年、本県2回目となる「令和6年度第55回福井大会」をホテルフジタにて開催、参加者220名、北陸新幹線の開業により便利になったものの、物価高騰の影響等で組合員の参加が減少しました。また、廃業する店舗もあるなど厳しい状況が続いております。

これから、業界を伝えるために、町中華、炒め物、揚げ物、トロミ料理、昔ながらの中華そば等、カウンターで考え、「知恵と心と技」で、付加価値の高いメニューの開発を進めるべく、「令和7年度第56回埼玉大会」がパレスホテル大宮で開催され、福井県中華料理組合員8名が参加いたしました。

大会のテーマは「以食伝愛」～食を以って愛を伝える～でした。

令和8年度は兵庫大会です。



8組合合同で「生衛業普及啓発・後継者育成支援イベント」を開催

令和7年11月10、11日の2日間にわたり、「あなたのくらしを支える生衛業、あなたの夢をかなえる生衛業」と題して、福井駅福井市観光交流センター屋内広場において、麺類業、理容、美容業、クリーニング業、旅館ホテル業、寿司商、社交飲食業、中華料理の8組合合同による紹介イベントを初めて開催しました。

当イベントには高校生をはじめ、多くの方が来場され、生衛業への理解、関心を深めていただきました。

今後とも、生衛業のPR、後継者育成に取り組んでいきます。



生活衛生営業指導センター・連合会からのお知らせ

生衛業への支援要請活動を行いました

令和7年11月20日(木)、ザ・グランユアーズフクイにおいて、連合会(光森幸夫会長以下、各生衛組合の理事長)が、福井県(宮下裕文健康福祉部長、橋本年弘医薬食品・衛生課長)ならびに福井県議会生衛議員団の松田泰典議員団長、宮本俊議長、田村康夫議員、兼井大議員、笹原修之議員に対し、生衛業への支援要請を行いました。連合会からは、各組合が抱える問題や物価高騰に苦しむ生衛業界への一層の支援、誘客につながるメッセージ発信等を強く訴えました。



衛生水準の確保・向上事業を推進しました

令和7年9月10日(水)、福井パレスホテルにおいて各生衛組合、福井県、日本政策金融公庫および当指導センターが会合し、「第1回衛生水準の確保・向上事業推進会議」を開催いたしました。衛生水準の確保・向上に係る今年度の行動計画について協議し、採択されました。この計画に基づき、11月の生活衛生同業組合活動推進月間の活動を始め、様々な事業活動が展開されています。



会議の後半では、「令和時代の集客力アップ」と題して特別講演会を開催いたしました。講師は本県出身の株式会社リフェイス代表取締役、中村佳織氏で、新しい時代に対応した売上拡大の方策、特に情報発信についてわかりやすく講義していただきました。今後の生衛業の新たな取組の方向性を探る上で、大変有意義な機会となりました。

経営支援セミナーを開催しました

令和7年7月23日(水)、福井パレスホテルにおいて、経営支援セミナーを開催いたしました。「お客様の不満を満足に導く対応術」と題し、コミュニケーション改善コンサルタントの藤田由美子氏に講義していただきました。クレーム対応の基本や効果的な言い回しなど、現場に即した具体的内容で、生衛業者に大きな負担となっている顧客対応の一助となる、実り多い研修となりました。



経営特別相談員研修会を開催しました

令和7年11月6日(木)、福井県職員会館において、経営特別相談員研修会を開催しました。

福井県から委嘱された39名の経営特別相談員を対象に、「特別相談員制度と役割」「デジタル化推進による集客力、収益力アップ」、「アンガーマネジメント研修」、日本政策金融公庫福井支店による「衛経の有効活用と推薦事務の流れ」についてなど、相談指導活動に役立てていただける多様な講義が行われました。長時間の研修にもかかわらず、特別相談員の皆様は最後まで、熱心に講義に耳を傾けておられました。今後の相談活動等、実践に活かせることと思います。



クリーニング師研修を実施しました

令和7年10月19日(日)福井県職員会館において、会場型のクリーニング師研修を開催しました。大阪府クリーニング研究所の桑野所長をお招きし、「洗濯物の処理」、「繊維と繊維製品」について、事例を含め大変わかりやすくご講義いただきました。

また、福井県消費生活センターの井藤研究員による「洗濯物の受取り、保管、引き渡し」についての講義、県医薬食品・衛生課による「衛生法規と公衆衛生」の講義がありました。

クリーニング組合の協力もあって、会場制型以外にも通信型や業務従事者講習を含め、約40名の方々が受講されました。



高校生インターンシップを実施しました

令和7年6月24日(火)に開催された生活衛生営業後継者育成支援協議会において策定された計画に基づき、6月から10月にかけて、各組合事業所の協力を得て、高校生のインターンシップを実施しました。

福井商業高等学校、福井農林高等学校、啓新高等学校、仁愛女子高等学校、北陸高等学校の生徒さん39名が、実際に就労を体験することで、プロの技術や接客マナー、人とのつながりなど多くを学び、働くことの大切さや生衛業への理解を深めるなど貴重な社会勉強になりました。少しでも、生衛業に携わる後継者につながることを期待しております。



地域別なんでも相談会の実施

令和7年12月4日(木)、11日(木)、武生商工会議所および福井県職員会館の2ヶ所にて生衛業地域別『なんでも相談会』を実施しました。

相談会には、中小企業診断士、税理士、㈱日本政策金融公庫職員の方々にお越しいただき、各組合員の皆様からの様々な相談や質問に対し、多くのアドバイス含め対応していただきました。

本年もよろしくお申し込み申し上げます
(公財)福井県生活衛生営業指導センター役員一同

理事長	光森 幸夫 (中華料理)	
副理事長	土田 耕一 (旅館ホテル)	實山 栄一 (麺類業)
	山田 剛士 (美容業)	
理事	奥村 数馬 (理容)	有賀 秀雄 (クリーニング業)
	長谷川 多聞 (公衆浴場業)	伊井 彌州雄 (興行)
	木村 裕昌 (料理業)	松谷 亨 (寿司商)
	西野 昌美 (喫茶飲食業)	中村 勉 (飲食業)
	後藤 和憲 (社交飲食業)	森谷 淳一 (食肉)
	宮下 裕文 (福井県健康福祉部長)	
専務理事	南部 晴彦	
監事	北川 昌信 (クリーニング業)	渡邊 良一 (料理業)

(令和8年1月1日現在)

安全・安心の目印 Sマーク とは?

Sマーク 標準営業約款制度
標準営業約款制度「Sマーク」は、消費者の皆さまにご利用いただく際の安全・安心の目印です。

安全・安心を約束する3つの「S」

- Safety 安全であること**
Sマーク登録店は、万一事故が発生した場合、事故賠償基準に基づいて賠償が行えるよう、損害賠償責任保険に加入しています。
- Standard 安心であること**
Sマーク登録店は、標準的なサービスを提供出来るよう、提供する業務の内容、基準を細かに定めています。
- Sanitation 清潔であること**
Sマーク登録店は、衛生的なサービスを提供出来るよう、営業施設又は、設備についての基準を定めています。

◆ 生活衛生同業組合 ◆

組 合 名	団 体 住 所		電 話
福井県理容生活衛生同業組合	〒910-1142	吉田郡永平寺町松岡兼定島34-3-2	0776-61-2443
福井県美容業生活衛生同業組合	〒918-8237	福井市和田東2-1713	0776-28-5200
福井県クリーニング業生活衛生同業組合	〒910-0015	福井市二の宮2-28-38 福弘ビル3F	0776-23-4044
福井県公衆浴場業生活衛生同業組合	〒910-0026	福井市光陽4-2-26	0776-22-2761
福井県興行生活衛生同業組合	〒910-0006	福井市中央1-17-12 (有)伊井興業内	0776-21-1511
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合	〒910-0005	福井市大手3-12-20 アレックシティおやかたビル2F	0776-22-7449
福井県料理業生活衛生同業組合	〒915-0076	越前市国府1-11-5 糸屋内	0778-22-0054
福井県寿司商生活衛生同業組合	〒918-8005	福井市みのり2-3-12 初味寿司本店内	0776-36-7017
福井県麺類業生活衛生同業組合	〒910-0302	坂井市丸岡町里丸岡3-10 大宮亭内	0776-66-8787
福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合	〒918-8239	福井市成和1-3123	0776-21-7839
福井県飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-25-0555
福井県社交飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-23-4833
福井県食肉生活衛生同業組合	〒910-8580	福井市大手3-17-1 福井県中山間農業・畜産課内	0776-20-0439
福井県中華料理生活衛生同業組合	〒918-8001	福井市つくも2-1-22 来々軒内	0776-36-8200

税務署からのお知らせ

令和7年分確定申告は
スマホ×マイナンバーカードでe-Tax

確定申告書等作成コーナーなら

金額等を入力するだけで自動計算で申告書が完成！

マイナポータル連携で

給与(※)、ふるさと納税、医療費等が自動入力できる！

※自動入力の対象となるためには、お勤め先が源泉徴収票を税務署にe-Taxで提出していること等の要件があります。

e-Taxに必要なもの

- ✓ マイナンバーカード（有効期限にご注意ください）
- ✓ マイナンバーカード読取対応のスマホ
- ✓ マイナンバーカードのパスワード2つ
 - ① 利用者証明用証明書のパスワード（数字4桁）
 - ② 署名用電子証明書のパスワード（英数6～16文字）

確定申告書等
作成コーナー申告
期限

所得税および復興特別所得税・贈与税

令和8年3月16日(月)まで

消費税および地方消費税(個人事業)

令和8年3月31日(火)まで

申告に困ったときは

動画で見る確定申告

「確定申告書等作成コーナー」の
操作方法などを動画でご案内

チャットボット「ふたば」

チャットボット「ふたば」
に、ご相談ください

簡単・便利なキャッシュレス納付！

- ・国税の納付はキャッシュレス納付をご利用ください。
- ・振替依頼書がオンラインで提出できます。

確定申告会場での相談を希望される方は、
「国税庁LINE公式アカウント」から
オンライン事前予約の手続きをお願いします。